

ひろしまの 土地改良



2024年 第275号



未来へつなごう！ふるさとの水土里 ^{みどり} 子ども絵画展2023 環境大臣賞
『しぜんのいきもの』 池本 沙由

謹んで新春のお慶びを申し上げます

広島県土地改良事業

(水土里ネットひろしま) 団体連合会

会長 木山 耕三

副会長 奥田 正和

副会長 明岳 周作

常務理事 上田 浩司

理事 吉田 隆行

理事 三村 裕史

理事 箕野 博司

理事 福岡 誠志

理事 箕田 英紀

理事 松田 一馬

理事 枝廣 直幹

理事 入江 嘉則

理事 平谷 祐宏

代表監事 高垣 廣徳

監事 今榮 敏彦

監事 久川 廣昭

理事 仲伏 英雄

外職員一同

令和六年元旦

新年のごあいさつ



みどり
水土里ネットひろしま
広島県土地改良事業団体連合会
会 長 き や ま こう ぞう
木 山 耕 三

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員並びに関係者の皆様には、日頃より土地改良事業の円滑な推進と農業・農村の振興、並びに本会の運営につきまして、格別なご理解とご支援を賜り心より厚くお礼申し上げます。

世界的な人口増加、気候変動の影響に伴う生産の不安定化、紛争による輸入リスクの顕在化など、食料安定保障を取り巻く環境の変化により食料の安定的な確保に影響を及ぼしています。このことから、国内生産基盤を維持・強化し、食料を安全・安定的に確保するための抜本的な強化対策が求められており、平時からの食料安全保障の確保に向けた食料・農業・農村基本法の見直しの展開方向が示され、それに沿った様々な施策を期待しております。

さて、安全で安心な食料を安定的に供給し、農業を魅力ある産業として活力ある農村を実現するためには、農業の多様な人材育成・確保を進めるとともに、ほ場の大区画化、水田の汎用化・畑地化等の農地整備や適時・適切な農業用水利施設等の保全管理が必要です。

また、近年、自然災害が多発化・激甚化するなか、防災・減災対策を強力に推進し、安全・安心な農村地域の暮らしを守るための、国土強靱化への取り組みがこれまで以上に重要となっております。

このためにも、農業の生産基盤や農村の環境基盤を着実に整備する必要があり、計画的な農業農村整備事業の推進が不可欠と考えます。

本会といたしましては、長年培ってきた技術と経験を最大限に活かして、「国の基」である農業の持続的発展と、食と活力ある農業・農村の実現に向け役職員一丸となって取り組んで参ります。

本年も一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、皆様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

新年のごあいさつ



広島県農林水産局長

おお はま きよし
大 濱 清

輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆様には、平素から本県の農業・農村の振興に多大な御貢献を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年5月には、ここ広島で『G7広島サミット』が開催され、世界に平和を発信していくとともに、世界中の方々に広島に関心をもっていただき、県内農林水産物の魅力を感じていただけたものと考えております。その一方で、世界人口の増加や、異常気象の増加・深刻化、国内では、燃料・資材・飼料など生産資材の価格高騰や、農業人口の減少など、農林水産物の食料需給の変化と生産の不安定化が増す中、そうした課題について、食料・農業・農村基本法の改正に向け、国レベルでの議論がなされているところです。

こうした農業を取り巻く環境が大きく変化している中、県といたしましては、農業農村整備事業により生産性や収益性の向上を可能とする生産基盤の整備を進め、農業の担い手と地域が連携して、持続的な農業生産活動ができるようにしていくことが重要であると考えております。

このためには、農地の大区画化や畦畔法面の緩傾斜化、また、畑作物の生産に不可欠な排水対策などの基盤整備により、スマート農業技術を十分活用できる環境を整え、地域の中心となる担い手への農地集積と集約による生産性向上や省力化、高収益作物の導入などによる収益性の確保を実現して参ります。

また、用排水施設などが老朽化し、農業生産に甚大な被害を及ぼす事故が全国各地で増加してきております。農業産地の維持、発展に不可欠な水を安定して供給し続けられるよう、施設の機能維持のための点検と保全対策、脱炭素社会の実現に向けた省エネ化、さらにはICT技術を活用した管理の省力化などに、地域や管理者とともに取り組んで参ります。

さらには、気候変動の影響により、災害の頻発化、激甚化が顕著となっていることから、地域で安心して暮らしていけるよう、防災・減災対策を強化することも必要です。とりわけ、本県に多い防災重点農業用ため池の防災・減災対策につきましては、迅速な避難や管理強化などのソフト対策と、補強や廃止などのハード対策を総合的に推進して参ります。

このような、農業基盤の整備、農地や農業用施設の保全対策並びに防災・減災対策などの農業農村整備事業を着実に進めていく上では、国、市町並びに土地改良区をはじめとした、関係の皆さまの御理解・御協力が不可欠でございます。引き続きの御協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりにになりましたが、農業農村の振興と皆様方の今後ますますの御健勝と御活躍を祈念いたしまして新年の御挨拶といたします。

令和6年1月

農業農村整備の集い

令和5年11月7日（火）東京・平河町のシェーンバッハ・サボーにおいて、農業農村整備の集い「農を守り、地方を創る予算の確保に向けて」が開催されました。

当日は、宮下一郎農林水産大臣をはじめ、衆参両院の国会議員、全国の土地改良関係者約1,000名が参集しました。

開会にあたり、主催者挨拶で全国水土里ネットの二階俊博会長が、土地改良の男女共同参画は今後しっかり取り組んでいかなければならないと述べられました。

財務省や農林水産省に対する要請文が満場一致で採択された後、宮崎雅夫会長会議顧問による情勢報告、全国水土里ネット女性の会の活動報告が行われ、盛会のうちに終了しました。

また、集い終了後に地元選出の国会議員に対し、本会上田副会長常務理事等が、農業農村整備の推進と予算確保に対する要請活動を行いました。



第45回全国土地改良大会 福井大会の開催

令和5年10月11日（水）大会テーマ「「水土里」がある「幸福」がある「笑顔」がある～ふくいで語る土地改良の未来～」の下、全国から約4,000名の農業農村整備事業関係者が福井県越前市サンドーム福井に参集しました。

活力ある農業農村の創造に向け持続的な農業・農村を可能とするため「水」「土」「里」を守り、引き継いでいくことを高らかに宣言し、次回開催となる第46回全国土地改良大会千葉大会に引き継がれました。大会式典中に行われた令和5年度全国土地改良事業功績者表彰では、農村振興局長表彰を前大崎上島町長の高田幸典氏が、全国土地改良事業団体連合会長表彰を三次市土地改良区理事長の箕田英紀氏が受賞されました。



全国土地改良大会 会場（サンドーム福井）



土地改良事業功績者表彰 箕田 英紀 氏

■ 水土里ネット男女共同参画推進大会 in Kazuno 開催

令和5年9月27日（水）、秋田県鹿角市「ホテル鹿角」において、令和5年度水土里ネット男女共同参画推進大会 in Kazunoが開催されました。

各都道府県の水土里ネット女性の会会員及び関係者が一堂に会し、講演や討論を通じて、男女共同参画を推進し、多様な人材が土地改良の現場で活躍できる環境づくりについて考える機会となりました。

翌9月28日（木）は、由右衛門果樹園・レディースファームの講師によるトーク講演に続いて、小坂町の小坂七滝ワイナリーなどで研修が行われました。



■ 令和5年度生きものの調査指導者養成全国研修会

令和5年11月7日（火）・8日（水）に世羅町せら文化センターにおいて、（一社）地域環境資源センター主催の「令和5年度生きものの調査指導者養成全国研修会」が開催されました。

農林水産省が推進する「生きものの調査」は、農村地域や集落コミュニティの再活性化を目指す取り組みの一環で、農家や非農家を含む地域住民が参加して地域の生物や自然環境に関する調査を行っています。

今回の研修は、全国の多面的機能支払交付金活動組織の方や環境教育プログラムの実施を検討されている方、土地改良区や広島県土地改良事業団体連合会、行政関係の担当の方などを対象に「生きものの調査」の指導やサポートを行うことができる人材を育成することを目的として開催されました。研修は2日間にわたり実施され、初日は調査目的や計画立案、採捕方法、環境配慮の手法について学び、2日目は世羅町川尻地区の環境配慮型水路で定置網やタモ網を使い生物を採捕し、その後採捕した生物の調査記録方法などを実習しました。

本研修は毎年1回開催されています。来年度の開催場所は未定ですが、興味のある方は是非ご参加ください。



講義の様子



世羅町川尻地区環境配慮型水路における実習状況

「未来へつなごう！ふるさとの^{みどり}水土里子ども絵画展 2023」に全国各地から多数の作品が寄せられ、全3,021作品の応募の中から、入賞31作品、地域団体賞52作品、入選142作品が決定しました。広島県からは、入賞1点、地域団体賞3点、入選10点が選ばれました。

未来へつなごう！ 子ども絵画展



環境大臣賞

「しぜんのいきもの」

池本 沙由 (学校法人 杉原学園 松永幼稚園)



水土里ネット福山 優秀賞

「福山のくawaii」

宮本 桃花 (福山市立新涯小学校)



水土里ネット祇園 八木用水賞

「なすにみずやりしたよ!」

西廣 芽依 (広島市立毘沙門台小学校)



水土里ネット福山 くawaii大賞

「しぜんとくawaii」

武田 彩花 (福山市立川口小学校)

みどり ふるさとの水土里 2023



入 選



「かぼちゃがいっぱい」
益村 虹希
(広島流川教会学園流川こども園)



「スイカがいっぱい」
渡邊 裕一
(聖母幼稚園)



「水の中ってきもちいいね!!」
山田 眞叶
(学校法人三光学園 神辺千鶴幼稚園)



「はじめての田植え」
加藤 尊
(学校法人 杉原学園 松永幼稚園)



「じいちゃんとはあちゃんが作ったスイカ」
徳永 晴奏
(学校法人 杉原学園 松永幼稚園)



「いきものたくさんみつけたよ」
松岡 虎太郎
(福山市立新涯小学校)



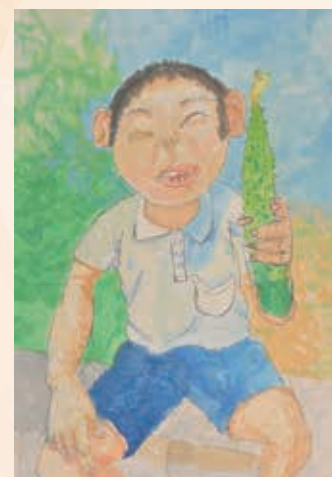
「くawaiiをもつ学生」
花光 明日華
(福山市立川口小学校)



「トマトがたくさんできたよ」
平田 悠隼
(学校法人三光学園 千鶴幼稚園)



「お米のしゅうかく」
茶谷 百
(安田学園安田小学校)



「ぼくのきゅうり」
石田 悠貴
(庄原市立庄原小学校)

令和5年度土地改良区役職員研修会を開催

令和5年10月20日（金）広島県土地改良会館において、県内の土地改良区役職員、県・市町の関係者60名が参加し、土地改良区役職員研修会を開催しました。

土地改良区の円滑な組織運営と水利施設の管理、並びに男女共同参画への理解と共通認識の醸成を目的として、研修会と意見交換会を行いました。

午前の部では、広島総合法律会計事務所の砂本弁護士より、「土地改良区の長期未収賦課金」に関する基礎知識と滞納処理についてご講演いただきました。

また、本会地域支援課の職員が「土地改良施設維持管理適正化事業」に関する説明を行いました。

午後からは、全国土地改良事業団体連合会及び広島県土地改良区運営基盤強化協議会との共催で、男女共同参画推進研修会と女性理事登用に向けた意見交換会を行いました。

協議会事務局の広島県農業基盤課の石田グループリーダーから「県内の女性理事登用の状況と今後の方針」について、全国土地改良事業団体連合会の三木土地改良研究所長から「男女共同参画の基本事項、行動計画、全国の事例紹介」について、また、中国四国農政局土地改良管理課の小谷係長から「女性理事登用に向けた定款変更」について説明を受けました。

続いて行われた意見交換会では、女性理事登用を実現した土地改良区と、未登用の土地改良区から、登用に向けた経緯や課題について、話し合いが行われました。

閉会にあたり、本会上田副会長常務理事が「土地改良区は、地域の農業・農村振興を支える核であると確信しております。土地改良の新たな発展のために女性理事登用に向け、スピード感をもって頑張りましょう。」と述べました。



砂本弁護士

